



株式会社レスター

Restar Vision

株主通信

2023年4月1日～2024年3月31日



証券コード：3156

ご挨拶

当社は2024年4月1日に純粋持株会社から事業会社へ移行いたしました。株式会社レスターホールディングスが存続会社となり、株式会社レスターエレクトロニクス、株式会社レスターコミュニケーションズ、株式会社バイテックエネスタの3社を吸収合併し、「株式会社レスター」として新たにスタートいたしました。「One Restar」のもと経営資源の最適配分を行うとともに収益構造の変革を推進し、グループの更なる強化と中長期的な事業拡大に向けて取り組んでまいります。

2024年5月28日には初めてとなる中期経営計画を発表いたしました。中長期の成長に向けて戦略的な施策を実行し、事業の一層の拡大と収益力の向上を図ってまいります。

今後もお取引先の皆様とともに様々な社会課題の解決に取り組むことによって、ステークホルダーの皆様との信頼関係をさらに高め、サステナブルな社会の発展に努めてまいります。引き続きご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

株式会社レスター 代表取締役一同

経営理念

Mission
ミッション

情報と技術で、新しい価値、サービスを創造・提供し、
社会の発展に貢献します

Vision
ビジョン

あらゆるニーズに対応できる
「エレクトロニクスの情報プラットフォーマー」を目指します
世界・社会貢献・共創と革新

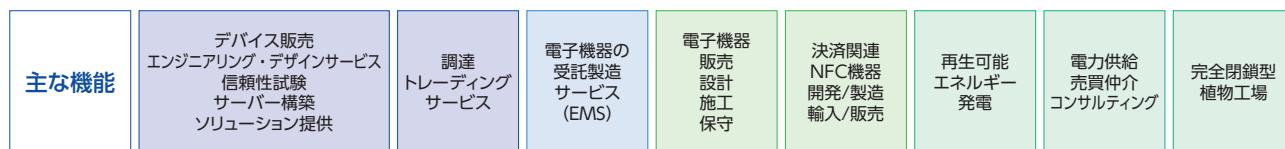
Values
バリュー

多様な考えを受け入れ、共創を通じて、新しい文化や価値を創り出します
常に高い目標を掲げて、革新的な発想と情熱で、挑戦し続けます
活躍の場を世界へと広げ、持続可能な社会の発展に貢献します

事業再編に関するお知らせ～純粋持株会社から事業会社へ～

経営資源の最適配分を行い、収益構造の変革を図る
グループの更なる強化と事業拡大

新体制
(2024/4/1～)



旧体制
(～2024/3/31)



詳細はこちらをご覧ください。
[https://pdf.irpocket.com/
C3156/PTSX/VFMh/XrZQ.pdf](https://pdf.irpocket.com/C3156/PTSX/VFMh/XrZQ.pdf)



中期経営計画策定

2027年3月期までの中期経営計画において、財務規律を維持しつつ既存事業のオーガニックな成長に加えて、新たな事業を追加し事業拡大を図る

◆ 中期経営計画の基本方針

目指す姿

お客様のすべての課題をエレクトロニクスで解決する
1兆円規模の「エレクトロニクスの情報プラットフォーマー」

- 1 既存事業の成長 | パートナーシップによるバリューチェーンの強靱化と収益力強化
- 2 事業領域の拡大 | “エンジニアリング”と“IT&Sler”の事業化
- 3 事業シナジーの追求 | あらゆる商材・情報・技術を繋ぐプラットフォームの構築

◆ 中期経営計画の目標

■ 売上高(オーガニック)
■ 売上高(大型M&A)
● 営業利益率



◆ 成長戦略

デバイスBU (ビジネスユニット) の成長戦略

顧客戦略と注力領域への施策実行による事業拡大と収益性改善

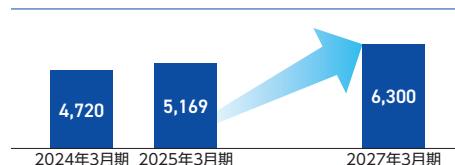
1. 顧客・仕入先別のアカウントプランニング強化

- ▶顧客基盤・商材・セールスネットワークの資産を強みとしたサプライチェーン強靱化による事業基盤の強化・拡大
- ▶戦略的パートナーシップによる付加価値創出と事業領域の拡大

2. 注力領域への施策実行

- 産機領域**
- ▶マシンビジョン領域への注力 (検査工程・品質管理など付加価値)
 - ▶戦略商材のFAE強化による収益性改善 (センサー・FPGA・ARMツール・EPS・MMS等)
- 車載領域**
- ▶安全運転支援における戦略商材センサー領域を核としたクロスセル
 - ▶豊富なラインカードとFAEを生かした設計段階・上流工程での受注獲得
- グローバル展開**
- ▶アメリカ、ヨーロッパ、ベトナム、インドへの販売拡大

売上高 (億円)



営業利益 (億円) / 営業利益率 (%)



システムBU (ビジネスユニット) の成長戦略

GXとDX、そしてグループシナジーとパートナー協業を活かした事業拡大

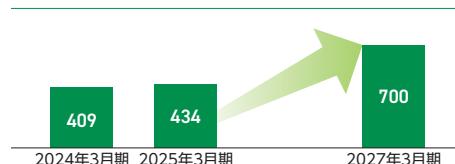
1. グループシナジーを活かした付加価値の拡大

- ▶グループ顧客基盤の活用による事業拡大・強化
- ▶グループの各種サービスシステムの横断的保守サポート体制の確立
- ▶保守ビジネスの外販強化とサービス範囲の拡大
- ▶エネルギー地産地消モデルの更なる展開

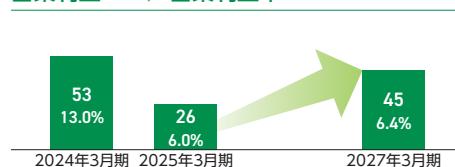
2. 注力領域への施策実行

- 法人向け事業**
- ▶オフィス関連ビジネスの拡大
 - ▶リテール業界向けのビジネス拡大
 - ▶ストック型ビジネス構築と関連するシステム運用やコンテンツなど付加価値提供
- 公共向け事業 (自治体・教育・医療・防衛)**
- ▶省人化に資するDXモデルの開発・提供
 - ▶再生可能エネルギーのシステム開発・提供による地域GXの推進
 - ▶パートナーとの協業を通じた地域創生の事業深耕と開発

売上高 (億円)



営業利益 (億円) / 営業利益率 (%)



◆ 4事業の重点施策 (M&A・アライアンス戦略)

継続的な成長を図る目的で、半導体を中心とした成長市場における事業拡大に資する継続的なM&A・アライアンス戦略を実行

1. グローバル展開

狙い

日系中心の顧客層から
アジア圏における顧客拡大

2. 事業基盤拡充

狙い

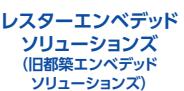
強みを活かすラインカードの
拡充と事業機能強化

3. 戦略的パートナーシップ

狙い

事業補強と新たな
事業機会の獲得

実績と狙い

 <p>WPG Holdings</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶メガディストリビューターのJV強化(日本・香港・ドイツ) ▶戦略商材の外国企業向け販売と、海外優良商材の国内販売展開 	 <p>デクセリアルズ</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶アジアにおける販売網強化協業 ▶光半導体関連で国内外での協業 	 <p>SBIホールディングス</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶半導体製造国内回帰の大型プロジェクトを台湾PSMCと進めるSBIグループと資本業務提携 ▶地域創生の事業協業 	 <p>PALTEK</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶FPGAを活用した産業機器分野への拡大 ▶顧客基盤の拡大 	 <p>レスターエンベデッドソリューションズ (旧都築エンベデッドソリューションズ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶電源系商材の拡充やARM開発ツールの取り扱い ▶顧客基盤の拡充
--	---	---	---	---

株主還元方針

2027年3月期を最終年度とする中期経営計画の期間の基本方針

安定的な株主還元の充実、
成長領域への積極的な投資と
財務健全性のバランスを考慮

連結株主資本配当率
(DOE※)4%以上

安定的且つ継続的に
増配の実施

余剰資金については
機動的な自社株買い

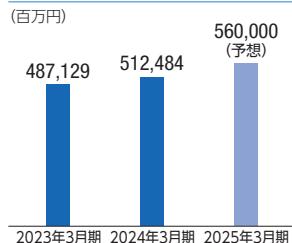
※DOE (Dividend on Equity) : 株主資本配当率。
株主資本をベースとするため、配当性向に比べて、利益のぶれに対する影響が少なく、安定的な配当となります。

業績ハイライト (2024年3月期)

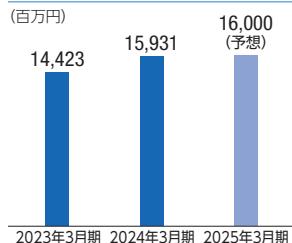
過去最高の売上高と営業利益を達成

- ✓ **売上高** 主に調達事業の好調、株式会社レスターエンベデッドソリューションズを連結子会社化したことも寄与し過去最高
- ✓ **営業利益** 増収による増益と環境エネルギー事業が寄与し過去最高
- ✓ **半導体及び電子部品事業** デバイス事業は車載向けが好調に推移したほか、上記の連結子会社化が寄与し、やや増収。EMS事業は主力のスマートフォンならびに車載向けディスプレイの新規顧客への展開もあり増収
- ✓ **調達事業** 引き続き主要顧客向けの車載需要が好調に推移したことにより増収。セグメント利益は増収により増益
- ✓ **電子機器事業** 電子機器事業は主に医療向けや企業向けなどの伸長により増収。システム機器事業は海外製決済端末の売上増加があったものの、前年同期の特需が剥落したことにより減収。セグメント利益は、主にプロダクトミックスの改善によりやや増益
- ✓ **環境エネルギー事業** エネルギー事業の売上は国内外の太陽光発電が堅調に推移したものの、設備販売の減少によりやや減収。新電力事業は官需を中心に堅調に推移し増収。植物工場事業は業務用スーパー向けを中心に販売拡大があったものの、その他の減少や能登半島地震による操業の影響もありやや減収。セグメント利益は、主に新電力事業の電力仕入価格の安定や保有電源の寄与により大幅な増益

売上高



営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する当期純利益



セグメント別業績ハイライト

(百万円)

	2023年3月期		2024年3月期			
	売上高	セグメント利益	売上高	前期比	セグメント利益	前期比
半導体及び電子部品事業	343,637	12,811	347,629	1.2% ↑	9,374	26.8% ↓
調達事業	104,538	2,281	124,270	18.9% ↑	3,080	35.0% ↑
電子機器事業	23,835	579	23,839	0.0% ↑	586	1.3% ↑
環境エネルギー事業	15,117	397	16,744	10.8% ↑	4,757	11.9倍 ↑
連結業績	売上高	営業利益	売上高	前期比	営業利益	前期比
	487,129	14,423	512,484	5.2% ↑	15,931	10.5% ↑

※全社の合計値はセグメント間調整を含んでおります。

※前期比の↑は増加、↓は減少の意味です。

配当実績と予想

- 2025年3月期は第2四半期末60円、期末配当60円、年間120円(1株あたり)となります。

1株あたり配当金

(円)



会社情報

会社概要

(2024年4月1日現在)

社名	株式会社レスター
本社所在地	東京都港区港南二丁目10番9号 レスタービルディング
営業開始日	2019年4月1日
資本金	43億83百万円
従業員数	連結 3,232名 単体 118名

役員

(2024年6月27日現在)

代表取締役会長兼社長	今野 邦 廣	取締役 常勤監査等委員	鈴木 俊 幸
代表取締役副社長	山口 秀 哉	取締役 常勤監査等委員	今野 剛 実
代表取締役副社長	朝香 友 治	取締役 監査等委員(社外)	手塚 仙 夫
代表取締役専務	今野 宏 晃	取締役 監査等委員(社外)	伊達 玲 子
取締役(社外)	戸川 清	取締役 監査等委員(社外)	笠野 さ ち 子
取締役(社外)	尹 晋 赫		

ビジネスユニット責任者

(2024年4月1日現在)

デバイスビジネスユニット	柴田 真 裕
システムビジネスユニット	今野 宏 晃

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
剰余金の配当の基準日	期末配当:毎年3月31日 ※中間配当を実施するときの基準日は9月30日
定時株主総会	毎年6月開催
公告方法	電子公告により行います。 公告掲載URL https://www.restargp.com/ir/other/

株主名簿管理人 特別口座管理機関 (連絡先)

東京都千代田区丸の内1丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1
TEL 0120-232-711 (通話料無料)
9:00~17:00(土・日・祝日を除く)

郵便物送付先
〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

株式の状況

(2024年3月31日現在)

発行可能株式総数	57,000,000株
発行済株式の総数	30,072,643株
株主数	8,936名

※発行済株式の総数には自己株式4,680株が含まれております。

大株主の状況(上位10名)

株主名	株式数(千株)	持株比率(%)
株式会社ケイエムエフ	6,026	20.04
株式会社エスグラントコーポレーション	2,897	9.63
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,237	7.44
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 ソニーグループ003口 再信託受託者 株式会社日本カストディ銀行	2,234	7.43
株式会社三菱UFJ銀行	818	2.72
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 ソニーグループ008口 再信託受託者 株式会社日本カストディ銀行	717	2.38
株式会社シティインデックスイレブンス	704	2.34
株式会社みずほ銀行	692	2.30
レスターホールディングス従業員持株会	655	2.18
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	584	1.94

※当社は自己株式4,680株を保有しております。
※持株比率は自己株式を控除して計算しております。

最新情報は当社Webサイトをご覧ください

当社Webサイトでは、当社をよりご理解いただけるよう、経営理念や事業内容に加え、広報・IR、サステナビリティ関連・ESG/SDGsや各種ニュースなど、様々な情報を掲載しております。ぜひ一度ご覧下さい。

<https://www.restargp.com/>

株式会社レスター 検索



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。